



さいたま市PTA協議会
http://www.saitama-city-pta.jp

いじめ防止スローガン
みんなで子育て よく見て、よく聞き、よく話そう!
見逃しません、子どもの小さな変化
ためらいません、子どもとの対話
連携します、家庭・学校・地域



No.48

令和7年2月28日

発行 さいたま市PTA協議会
編集 広報情報委員会
事務局 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1
大宮区役所4F
TEL 048-647-4401
製作 株式会社エース広告

じつは...けっこう役にたってるかも???

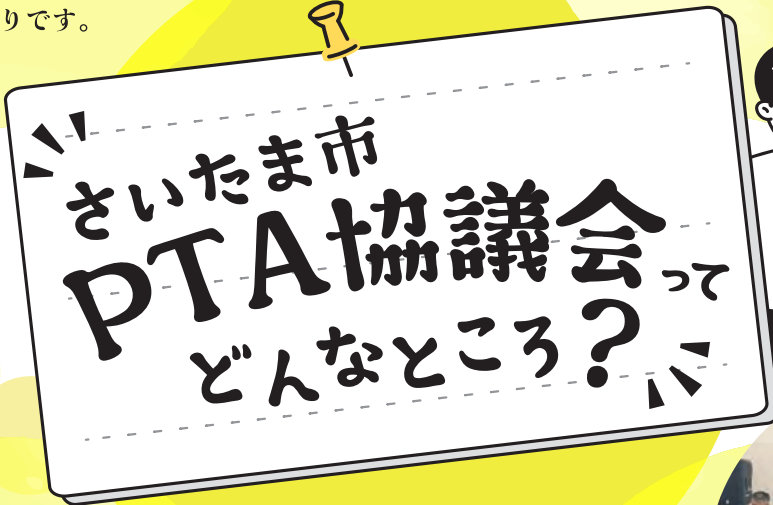
もっと身近に! さいたま市PTA協議会

理事会

普段は各区で連合会を結成し、学校単体でのPTA活動や所属している区でのイベントなどを行っています。その代表者が理事となり集まって開催されているのが理事会です。さいたま市の小中学校に通う子どもたちのために保護者目線で様々な意見を出してより良い活動を目指しています。普段は聞けない他校での取り組みを知る事ができたり、PTA活動での悩みや問題もみんなで共有しています。皆さんと同じ、子どもをもつ親たちの集まりです。

事業委員会

さいたま市PTA協議会でやっている様々な活動を担っているのが事業委員会です。本部役員向けに役立つ情報を発信している役員セミナーや、保護者目線での意見を直接話すことのできる教育委員会との懇話会など年間を通じて行われる行事の全てを取りまとめています。準備から司会進行までを分担しながら、協力して進めています。まさにさいたま市PTA協議会の縁の下の力持ち。



広報情報委員会

さいたま市PTA協議会がどんな活動をしているのか、どんな役割を担っているのかなど、「もっと身近に知って感じてほしい。」そんな思いで活動しているのが広報・情報委員会です。年2回発行される広報紙に掲載する内容を決め、取材をして記事をまとめて会員の皆様へお届けしています。WEBでの掲載なども含めて時代にあった情報発信を模索中。また、本部役員向けに広報紙作りセミナーも開催し各学校の情報発信のお手伝いをしています。広報紙コンクールも開催し、優秀作品はさいたま市PTA協議会より表彰もさせていただきます。



理事会

広報情報委員会

事業委員会



日時: 令和6年8月22日(木)~24日(土)
場所: さいたま市立館岩少年自然の家

「夏休み! ネイチャーラボ2024@館岩少年自然の家」が、さいたま市PTA協議会と認定NPO法人みんなの夢の音楽隊の共催、さいたま市教育委員会の後援で開催されました。参加したのは子ども82名、大人スタッフ18名の総勢100名。さいたま市の中学生、小学生が館岩の自然の中、前山登山、源流探検、野外炊飯、キャンプファイヤーなど、普段の生活では体験できない貴重な時間を過ごすことができました。

さいたま市PTA協議会は今後も「子どもたちのための活動」をスローガンに今後も貴重な経験を得られる機会を増やしていきたいと考えています。

令和六年度 人権標語 最優秀作品紹介

小学一年生	ともだちに もらったやさしさ つなげたい	小学二年生	だれひとり 命のおもさ かわらない	小学三年生	おしつけない 自分自身の 「当たり前」	小学四年生	まねしたい きみのいいとこ いいことば	小学五年生	匿名で 書かれる重さと 書く軽さ	小学六年生	「私」は世界に 一人だけ	小学一年生	ひとりずつ ちがうかんがえ たからもの
小学二年生	思いやり 画面越しでも 忘れずに	小学三年生	平気でしょ!! 相手にとっても 平気かな??	小学四年生	多様性 「私」は世界に 一人だけ	小学五年生	ひとりずつ ちがうかんがえ たからもの	小学六年生	多様性 「私」は世界に 一人だけ	小学一年生	ひとりずつ ちがうかんがえ たからもの		

さいたま市PTA協議会

「児童・生徒ワイド補償制度(こども総合保険+自転車総合保険)」

- 第一次締切日: 3月27日 補償期間 2025年4月1日~2026年4月1日
- 第二次締切日: 4月21日 補償期間 2025年4月25日~2026年4月1日

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

埼玉県自転車条例
さいたま市自転車条例
に対応しています!

団体割引等
適用により
保険料が割安!

自転車事故等による損害賠償責任も 無制限で補償

※ご家族全員が対象 ※国外は3億円まで補償となります。

示談交渉サービス*付き!
*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

小学5年男子児童の
自転車衝突で母親に
約9,520万円の
賠償命令(神戸地裁判決)

ケガの補償 24時間補償で安心!

- ◆ 学校内でのケガはもちろん、休日も含め24時間ケガを補償!
- ◆ 地震等によるケガも補償!
- ◆ 細菌性食中毒、ウイルス性食中毒や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

オンラインのお申し込みはこちら

小学校用	中学校用	高校用
------	------	-----

オンライン申込みの締切日2025年4月29日
補償期間2025年4月30日~2026年4月30日
※2025年3月31日までにオンライン申込完了した場合は2025年4月1日から補償開始となります。

取扱代理店・扱者
AIGパートナーズ株式会社
さいたま支店
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL 0120-991-341(通話料無料)
(受付時間:9:00~17:00 土、日、祝日、年末年始を除く)

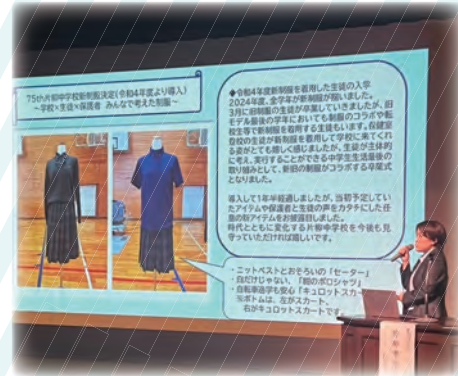
〈加入依頼書申込みの募集締切日〉
第一次締切日: 3月27日 投函締切
補償期間 2025年4月1日~2026年4月1日
第二次締切日: 4月21日 投函締切
補償期間 2025年4月25日~2026年4月1日
詳しくはパンフレット等をご確認いただくか、取扱代理店・扱者までお問い合わせください。

〈引受保険会社〉
【幹事会社】 **AIG損害保険株式会社**
担当支店: 埼玉支店
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL:048-641-4050
【非幹事会社】 **東京海上日動火災保険株式会社**
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
13-0007 2026-01

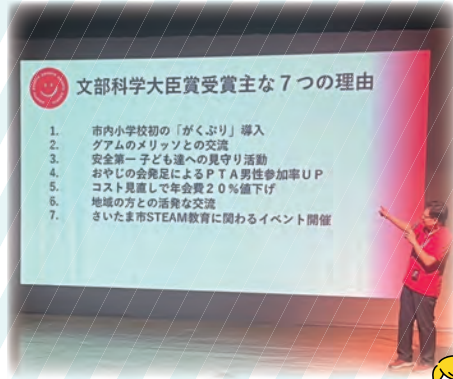
後半は優良PTAで表彰された大宮区の上小小学校、見沼区の片柳中学校、春里中学校から日頃取り組んでいる活動内容などを発表してもらいました。各学校共にユニークな取り組みをしているのが印象的でした。



見沼区の片柳中学校では制服を生徒・保護者・地域とで考え一新したり、生理用品の常設設置など子どもたちのための活動が多いことが印象的でした。見沼区・北区と合同で公立高校の説明会を行うなど中学校ならではの活動もあるそうです。



大宮区の上小小学校では小中学校向けのプリント配信サービスを行っているがくぶりをいち早く導入したり、PTA主催の魅力的なイベントをたくさん行っていました。どの活動も会長自ら楽しんで動いている姿が印象的で、その楽しむ姿勢は本部役員や保護者へと伝わり今では本部役員になりたい方が多数いるようです。



見沼区の春里中学校では広報紙のWEB化について講演していただきました。春里中学校は広報紙コンクールでWEB部門最優秀賞を受賞された学校です。WEB配信での広報活動をどのように取り組んでいるかを実例を通じて発表していただきました。



最後に中央区の上落合小学校、中央区の八王子中学校、両校の広報部員さんに事前にいただいた質問にパネルディスカッション方式で答えていただきました。盛りだくさんの内容で充実した時間になったと思います。

今年度は広報紙コンクールの表彰式も役員セミナーの中で開催しました。最優秀賞を受賞

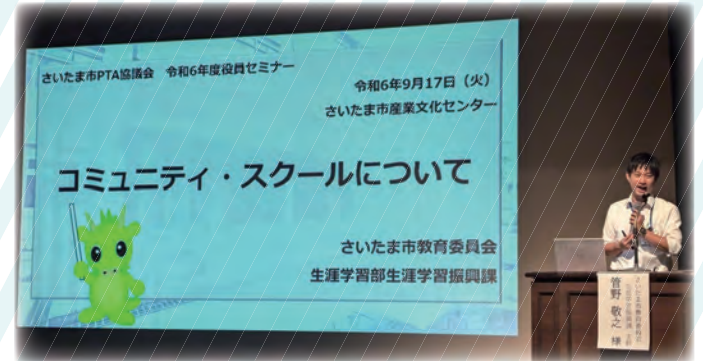


した上落合小学校、八王子中学校、WEB部門の最優秀賞を受賞した春里中学校、他にも佳作を受賞された小中学校へ郡島会長より表彰状が手渡され記念撮影を行いました。セミナーへ参加した人からは「各学校の取り組みを知れたことがよかった」「日頃の活動に活かせるヒントをもらった気がする」などの声をいただきました。

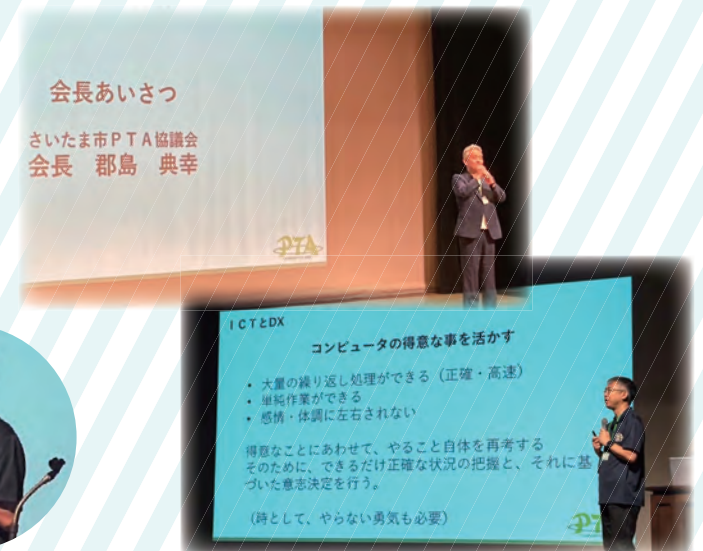
役員セミナー開催

各学校のPTA役員を対象に、本年度も役員セミナーが開催されました。本年度は今までの形式を一新。二部形式での開催となった。

前半に教育委員会の管野様からは「コミュニティ・スクール」についてのあり方などの講演をしていただきました。令和4年度からさいたま市全校で実施となったコミュニティ・スクール。地域の未来を担う子どもたちのためにできるだけ多くの地域住民の方々に学校と地域への関心を持ってもらい、学校と地域が抱える悩みを一緒に解決していくことが重要だということが大切だと感じました。



その後、市P協の郡島会長よりさいたま市PTA協議会の役割について、ICT担当の和田副会長からはPTA活動におけるICTの活用方法などの講演会が行われました。どちらもPTA活動をしている現場からの話で、参加されている本部役員の方々は真剣な顔つきで聞いている姿が印象的でした。昨今重要視されているICTについても具体的な活用方法を参加された方々で共有できたのではないのでしょうか。



令和5年度さいたま市PTA協議会広報紙コンクール 受賞作品一覧

★小学校の部★

- 🏆 **最優秀賞** かみおちあいNEWS……上落合小学校
- 🏆 **優秀賞**
 - みなみ……与野南小学校
 - むつみ……仲町小学校
 - ぬまかげ……沼影小学校
 - ほんまちだより……与野本町小学校
 - 松ぼっくり……大砂土東小学校
 - やなぎの樹……片柳小学校
 - nishicco……大宮西小学校
- 🏆 **佳作**
 - はばたき……つばさ小学校
 - みぬま……見沼小学校
 - すすや……鈴谷小学校
 - ひがし……大宮東小学校
 - おおさと……大砂土小学校
 - せんだん……宮原小学校
 - 北斗……大宮北小学校
 - しびらき……新開小学校

★中学校・特別支援学校の部★

- 🏆 **最優秀賞** さいたま八王子……八王子中学校
- 🏆 **優秀賞**
 - 東風……与野東中学校
 - 希望を胸に……美園南中学校
 - 大樹……与野西中学校
- 🏆 **佳作**
 - ときわ……常盤中学校
 - おおとり……埼玉大学附属中学校
 - つどい……土合中学校
 - ななさと……七里中学校
 - なぎさ……岸中学校
 - はらやま……原山中学校

WEB部門

- 🏆 **最優秀賞** 春里中学校
- 🏆 **優秀賞** 片柳中学校

【応募作品数】 小学校 30校 中学校・特別支援学校 17校 WEB版 2校

令和6年度 優良PTA文部科学大臣表彰

- ・春里中学校PTA
- ・片柳小学校PTA

令和6年度 さいたま市優良PTA団体表彰

- ・春里中学校PTA
- ・片柳小学校PTA
- ・片柳中学校PTA
- ・第二東中学校PTA
- ・与野南小学校保護者と教職員の会

西 NISHI

さいたま市北西部に位置する西区は、小学校8校、中学校6校、特別支援学校1校で連合会を構成し、毎年独自の取組として西区小中学生作品展、中学生スポーツ大会を行っています。

この活動はさいたま市PTA協議会から「子どもの顔の見える事業」に認定されている子どもたちのための活動です。



西区中学生スポーツ大会は野球、サッカー、剣道、卓球、ソフトテニス、ソフトボールなどで区内の中学校同士の対抗戦になります。部活動の顧問の先生方、青少年育成会、西区小中学校PTA会長が協力し、子どもたちのために大会運営を行っています。



西区小中学生夏休み作品展は、21年前、絵画展からスタートし、工作、書道と対象を増やしてきました。当初は西区役所市民ホールをお借りして作品を展示、コロナ禍を経て現在はオンライン展示に移行。小中学校及び特別支援学校(学級)全学年から作品を募集しています。

どちらの活動も子どもたちに表彰の喜びや、意欲を引き出す目的を持っています。これからも時代に合ったPTA活動を模索しつつ、本来の目的である子どもたちのための活動を西区では続けていきたいです。

北 KITA

「楽しくSDGs～竹串づくり 北区から館岩へ!」館岩少年自然の家で子どもたちが食べるイワナを焼く際に使用する竹串を、子どもたちと一緒に作成する事業を北区連で企画しました。

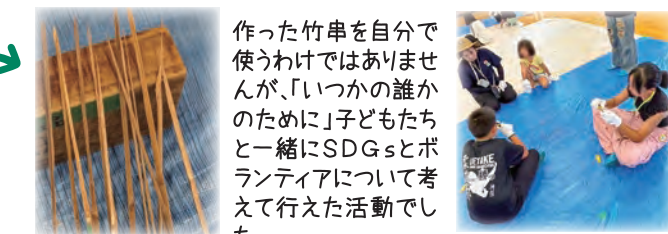
大宮日進七夕まつりで綺麗に飾られた竹を使用し、のこぎりで切り、ナタで小さくし、小刀を使用して一本の串に変えていくという作業を、子どもたちは大人と一緒に体験しました。



最近は子どもたちが刃物を使う機会も少なくなり、はじめはおぼつかない手つきで行っていた子どもたちも、大人や中学生ボランティアと一緒に作業を行い、綺麗な竹串が出来た時には満足感で一杯の表情をしていました。



北区内の小中学校に声をかけ、体験をする小学生34名、小学生をサポートするボランティアとして19名の中学生、保護者やスタッフ大人含めて合計103名が参加しました。



作った竹串を自分で使うわけではありませんが、「いつかの誰かのために」子どもたちと一緒にSDGsとボランティアについて考えて行えた活動でした。

中央 CHUO

私たち中央区は、経験や地域の繋がりが、子どもたちの成長にとって大きな財産となり、私たち一人ひとりが力を合わせることで、明るい未来へ橋をかけること「未来の与野を支える子どもたちのために、

今できることを」を目指しています。地域の宝である子どもたちが、心豊かでたくましく成長していける環境を、一致団結して応援していきたいと思ひます。



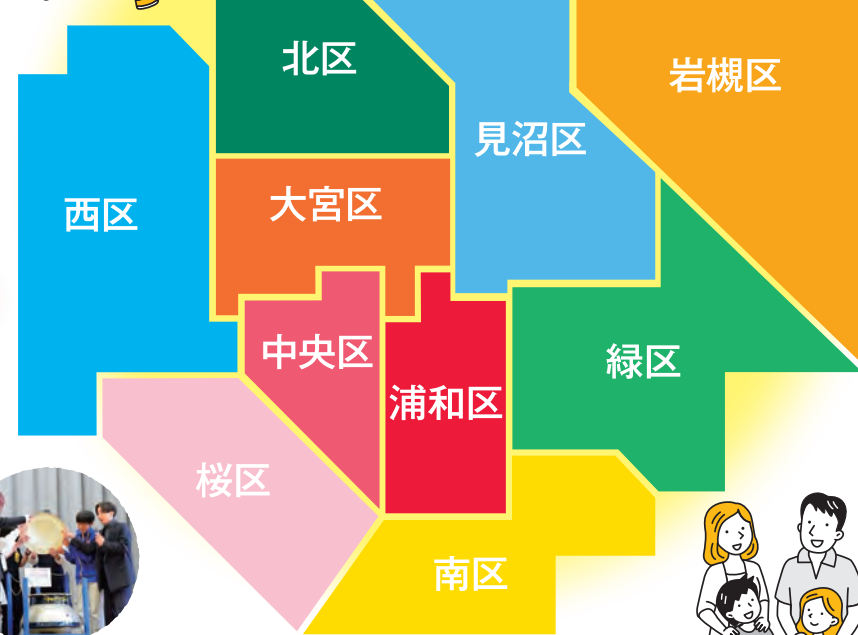
鈴谷小学校にて、災害発生を想定し『防災サバイバル』という体験型イベントが行われました。災害発生時に、小学校に避難するなどの状況になりどう行動するのか?体育館での寝泊まりや炊き出しなどを体験し、子どもたちが災害への関心を深めたこと、また経験値の育成が適応力へ繋がるイベントになりました。



与野八幡小学校は開校50周年記念で、バルーンリリースやタイムカプセル開封式が行われ、在校生や卒業生の笑顔が未来へ繋がる忘れられない記念日となりました。



与野西中学校で、安心して快適な地域をつくる取組として、校区環境美化活動が行われました。子どもたちに地域への愛着や責任感を育み、世代を超えた交流の機会となりました。終了後に創立70周年記念バルーンリリースを行い、冬晴れの澄み渡る空へ1000個のバルーンを飛ばしました。



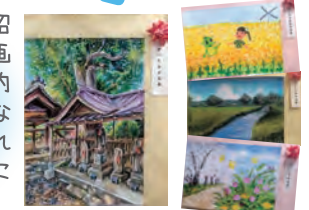
見沼 MINUMA

見沼区連は、繋がるをテーマに積極的に意見交換をするフレンドリーな会です。そんな見沼区連での取組みや各単会の取組みの一部をご紹介します。

まず、見沼区連の取組みの「ふるさと見沼絵画展」をご紹介します。「ふるさと見沼絵画展」は、小中学校の子どもたちが、見沼区内の自慢できる場所や好きな場所、夏祭りなどをテーマに描き、各小中学校で選考された絵画約200点を、見沼区ふれあいフェアに併せて見沼区役所にて展示するものです。



展示された絵画から、さいたま市長賞やさいたま市教育賞などと選考し、受賞した子どもたちに表彰状と記念品を授与します。さらに、受賞した子どもたちには、展示会場にてさいたま市長やさいたま市教育長と、自分が描いた絵画などについて話をする場を提供しました。話をしている子どもたちの様子は、自分の描いた絵を熱心に語りとても楽しそうに良き思い出になったと思います。



絵画展以外にも見沼区ふれあいフェアに会場した子どもたちには、見沼区のシンボルマークや場所などを問題にした「見沼区ウルトラクイズ(〇×クイズ)」を行い、子どもたちの笑顔あふれる一日となりました。



なお、各単会の取組みについては、春野小の保護者、学校、地域が連携した「お米づくり体験授業」、大谷小の子どもゆめ基金制度を活用した「熱気球体験」、各単会特色のある片柳小の「やなぎっ子フェスタ」、島小の「島小まつり」、大砂土東小の「松の子まつり」を写真にてご紹介いたします。



桜 SAKURA

「PTA活動の理解へ」桜区ではPTA活動をより一層理解していただけるよう数々のイベントを行いその存在をアピールしています。



このイベントは「楽しい中で防災を学ぶ」をコンセプトに行われ、体験型の防災に関する企画が多数ありました。自衛隊、消防署、水道局にも協力頂きPTAが力を発揮しているところを分かりやすく楽しく見てもらい絶好のアピールの場となりました。

桜区連はこれからも楽しく役に立つPTAを目指して活動の場を広げて参ります。

一例としては桜区連で桜区民祭りに出店しています。ポップコーンや綿あめ、ラムネを子どもが買える金額で子どもが楽しむことを第一目的としました。その収益を理事で協議して今年度は「みんなの防災祭り」というイベントに使いました。



また令和6年度は大久保東小と田島小の二校が50周年を迎えた記念の年でした。大久保東小は地元店舗のマルシェやお笑いステージで、田島小は文化センターで50周年にちなんだ各学年の発表をしてお祝いしました。

緑 MIDORI

今年も地域の方々と子どもたちとのふれあいの機会を各校PTAや地域自治会などが提供しました。特に11月には毎週各校を会場に、多くのふれあいの機会を提供することができました。

2日の「ふれあい大門まつり」は季節外れの台風の影響でありくく天候でしたが、たくさん子どもたちが来てくれました。「ゲームが楽しかった」とわなげやヨーヨーすくいなどのゲームを楽しみ笑い声が校舎内に響きました。



23日の「中尾小ふれあいフェスティバル」では地域の方が講師を務める「むかしあそび」ブースが大人気で、子どもたちはコマ回しやおでまなどを楽しんでいました。中学生ボランティアも活躍。「小学生にありがとと言われてやりに感じました」と、参加側から受入れ側へと立場を変えて参加してもらおうことができました。



11月の緑区内交流イベント	11/16	尾間木小 協力
11/2	大門小 主催	11/23 中尾小 主催
11/3	三室小 共催	11/30 道祖土小 主催
11/6~8	さくら草特支 参加	美園小 主催

月末30日の「MISONOフェスタ」でももちろん子どもたちはブースを楽しみました。それに加えて、「始まりと終わりの言葉の放送は緊張したけど楽しかった」「フェスタ後のゴミ拾いで学校がきれいになって嬉しかった」など、演者としての出演や運営での参加など、イベントを多角的に楽しんでいました。



私たちはこれからも子どもたちへの体験機会の提供し、笑顔に満ちた学校生活を支えるための活動を続けます。



さいたま市 ストップいじめ! 子どもサミット

日時：令和6年8月2日(金) 13:00~16:15
会場：さいたま市立大宮国際中等教育学校

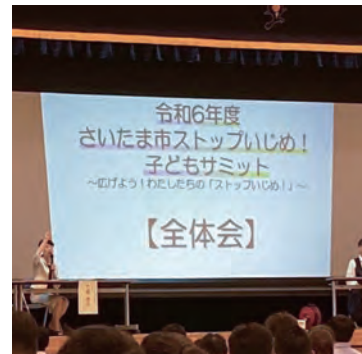


令和6年8月2日(金)さいたま市立大宮国際中等教育学校にて令和6年度「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が、さいたま市PTA協議会後援のもと開催されました。
このサミットは、いじめ防止について「子どもたちが主体となって考えました。子どもたちの考えに添う。」という内容で行われました。

「活動Ⅰ」では、各学校独自のいじめ防止に向けた取組の共有を行いました。まず最初に各学校の取組の発表、次に「ストップいじめ!」とは何か、また「ストップいじめ!」が学級や学校全体へ広がることによる効果を考えて話し合いました。



「活動Ⅱ」では、ワークショップ形式によるグループ発表が行われました。他の学校の取組を知り、子どもや大人がそれぞれの立場で自ら考えたものを各学校に持ち帰り、今後の対策に活かすことを目的とした内容でした。



サミットへ参加し感じたことは、いじめ防止のためにはいじめが起きてからではなく、いじめが起きないように学校の環境づくりが必要と感じました。私たち大人も支援のあり方を考え、子どもたちの見守り方について考えていこうと思いました。

日時：令和6年10月22日(火)
会場：浦和コミュニティセンターの多目的ホール

令和6年度の教育委員会との交流会に教育委員会から37人が、市内小中学校PTAから54人が参加して開催されました。この会は、普段なかなか話す機会を持つことができない教育委員会の方々と保護者との意見交換の場として開催されているものです。

郡島市P会長からの挨拶のあと、竹居教育長から『子どもの健やかな成長と幸せのために』というテーマでご講演をいただきました。

“『日本一の教育都市』で『日本一の幸せな子どもをはぐくむ』”ことを使命としているさいたま市。多様化の進む昨今、学校・PTA・地域がそれぞれの課題を共有し、スクラムを組んで子どもの健やかな成長と幸せを目指していきましょう、という教育長



の呼びかけが深く印象に残りました。その後、さいたま市教育委員会から教育委員会が取り組んでいる『さいたま市の働き方改革について』『さいたま市スマートスクールプロジェクトについて』『Solaら一むにおける支援について』についての情報提供がありました。

そして12個のグループに別れて行われた意見交換ではどのグループでも熱心な意見が交わされ、司会者の

さいたま市 教育委員会との 交流会

時間終了の声にもやりとりは途切れることなく続いていました。

様々な角度から大きく変わりつつある今の教育現場を保護者の立場としてもしっかりと見ることができ、学校・PTA・地域が一体となって今の子どもたちがより幸せに育つことができる環境を作りたいと思える時間となりました。



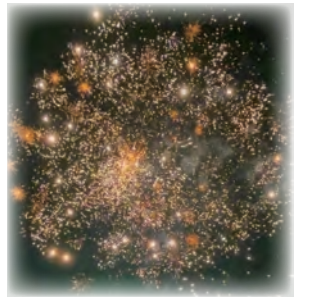
大宮 OMIYA

大宮区では、子どもたちの笑顔と幸せを守れるような活動を継続して取り組んでいます。

11月29日に上小小学校の創立50周年記念式典が執り行われました。式典の他にも50周年の特別企画が盛りだくさん! 通常より赤色多めのバルーンリリース、大宮区在住の絵本作家西村さんによる絵本づくり教室、ピタゴラ世界チャンピオン野出正和さんと一緒に体育館で全校生徒トイレットペーパーころころドミノ、細田真由美前教育長による「ドラえもんに好かれるのび太になろう!」ワークショップ、記念樹木ーミング、ピオトア整備、レモネードスタンド、友達や家族でできるペアヨガ教室、50周年のバトンをつなぐリレー、上小小学校オリジナルお煎餅作成などなど。



中でも印象的だったのは花火大会。手持ち花火校庭開放のフィナーレに仕掛け花火&ナイアガラが噴火。色とりどりの光とも歓声が上がリ、子どもたちだけでなく地域の方も保護者も釘付けでした。子どもたちの思い出に残る周年イヤーになったことでしょう。



浦和
URAWA
11月30日に、木崎小学校創立150周年記念式典が執り行われました。そこで浦和区では、木崎小学校の石川校長先生にお話を伺いました。



周年記念事業として行われたことは?
5月の「日本フィルハーモニー交響楽団」金管五重奏による記念コンサートをはじめ、記念写真(航空写真、クラス集合写真)撮影、さらに、児童会主催の「木崎小学校を祝う会」では、手作りのくす玉でお祝いしました。10月は記念運動会で、応援団が学校にエールを送り、種目も150周年を意識しました。11月は「領家学校」発祥の地である隣接「長覚院」住職による講話「特別授業1」、桜記念植樹、そして記念式典・記念音楽会、夕刻には花火大会を実施し大いに盛り上がりました。来年1月には学校運営協議会委員長の講話「特別授業2」を行う予定です。



未来の木崎小の子どもたちに一言
木崎小学校に関わる大人たちは、皆さんが幸せを実感できることを、社会の担い手として活躍できることを、そして笑顔でいられることを願っています。そしてこの大人たちの願いを、次の代の子どもたちのためへと受け継いでほしいです。



他に何かあれば
記念誌の内容は、大人だけでなく子どもたちも対象として作成しました。読みやすい記載方法(漫画、イラスト、吹き出しも活用)を心掛けました。

石川校長先生、長時間に渡り取材協力ありがとうございました。